

平成 27 年度公益財団法人富山県文化振興財団事業計画

〔公益目的事業〕

1 文化及び芸術を振興するための文化施設の貸与、芸術文化事業の展開及び美術館・博物館施設の運営

(1) 施設の管理運営（文化施設の貸与及び美術館・博物館施設の運営）

【県、魚津市及び南砺市から指定管理者の指定を受けている施設（10 施設）】

〔 県民会館、教育文化会館、県民小劇場、高岡文化ホール、新川文化ホール、
利賀芸術公園、立山博物館、近代美術館、水墨美術館、高志の国文学館 〕

①施設の適正な管理運営

利用者の安全確保を最優先に、常に細心の注意を払って施設設備の維持管理に当たるとともに、自衛消防隊の消防訓練や救急救命講習の定期的実施、震災等を想定した緊急時対応マニュアルの改善・充実に努め、実効ある危機管理体制を確立する。

また、快適で便利な施設環境を確保するため、空調管理や清掃等の適切な運営を徹底するとともに、県と連携しながら、施設設備の効果的な補修整備に当たる。

②利用の促進、利用者サービスの向上

各施設の設置目的を踏まえ、適正で効率的な供用を行うとともに、文化ホール施設における利用料金割引制度の運用、美術館・博物館施設における効果的な広報の展開等を通じて、施設利用の促進に努める。

また、利用者アンケートの実施等により、利用者のニーズや満足度を適宜把握し、サービスの向上に反映する。

③新生県民会館の運営の充実〔新〕

リニューアルオープンした県民会館が“にぎわいの創出拠点”“文化振興の中核拠点”として定着するよう、施設利用の促進、利用者サービスの向上、富山県の文化・自然・観光情報等の発信に重点的に取り組む。

(2) 芸術文化事業の展開等

各施設の特徴や地域特性等を活かして、舞台公演や美術展など特色ある文化振興事業等を幅広く展開する。

①利賀芸術公園

世界の舞台芸術の拠点づくりを進めるため、世界的な舞台芸術集団「劇団 SCOT(主宰：鈴木忠志氏)」と共同して、舞台芸術の創造・発信事業に取り組むとともに、国際交流、人材育成などの事業を実施する。

ア 劇場・音楽堂等の活性化事業

劇団 SCOT を中心とした優れた舞台芸術を創造・発信し、地域の文化芸術活動の活性化と舞台芸術の鑑賞機会の充実を図る。

- ・ SCOT サマー・シーズン 2015
- ・ 舞台芸術鑑賞会

イ 文化芸術地域活性化事業〔新〕

富山県と共同で、地域の様々な魅力ある文化芸術を再生・創出し発展させる取り組みとして、劇団 SCOT 創立 50 周年記念事業（利賀アジア芸術祭）を実施する。

ウ 利賀舞台芸術創造・発信事業

7 ヲ国の演出家、俳優からなる「インターナショナル SCOT（芸術監督鈴木忠志）」による舞台芸術作品の上演、地元中高生を対象にした演劇ワークショップを実施する。

エ 舞台芸術人材育成事業

優れた俳優、演出家らを養成することを目的とする「利賀演劇塾」、県内の高校生を対象にした「高校生夏期演劇講習会」、大学生を対象にした「利賀インター・ゼミ」を実施するほか、世界の舞台芸術の作品・訓練法の貴重な記録・資料の収集等の事業展開を支援する。

オ 利賀創造交流館における事業

「練習ホール」を活用し、舞台芸術の稽古や演劇公演を展開する。また、岩魚つかみやオリエンテーリング、そば打ちなど利賀の自然や特色を活かした活動プログラムの展開やイベントの開催を通じて、年間を通じた一般利用の促進に努める。

②文化ホール

文化活動への幅広い県民の参加を促すため、それぞれの地域の文化活動拠点施設として、各文化ホールにおいて多様な芸術文化事業を展開する。

特に、リニューアルオープンし、開館 50 周年にも当たる県民会館においては、記念事業として質の高い舞台公演や美術作品展を実施する。

ア 記念事業（リニューアルオープン・開館 50 周年）〔新〕

〔県民会館〕 May J.、久石譲指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団、日露交歓コンサート、松竹大歌舞伎（四代目中村鴈治郎襲名披露）、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、京舞と能、「北斎の富士」展、「美しい富山」展

イ 優れた文化を身近に鑑賞する機会の充実

〔教育文化会館〕 佐山雅弘・川嶋哲郎・渡辺香津美公演、とやま映像祭など

〔県民小劇場〕 ジャズダンス、ギター、オカリナ、落語、演劇公演など

〔高岡文化ホール〕 シュトゥットガルト室内合唱団、能楽公演、森公美子コンサートなど

〔新川文化ホール〕 仲道郁代&川久保賜紀、鈴木雅之、精華女子高校吹奏楽部公演など

ウ 文化を通じた交流・文化活動への参加の拡大

（ア）ホール運営ボランティアの養成及び活動支援

県立文化ホールや市町文化ホールの運営ボランティアの募集・養成を行うとともに、その活動を支援する。

(イ) 地元活動団体等の参加による各文化ホールでの舞台公演・作品展示等

〔教育文化会館〕 日本舞踊公演、民謡公演

〔高岡文化ホール〕 文化教室発表会、富山のアーティスト演奏会、社会人・学生バンド公演など

〔新川文化ホール〕 コーラスフェスティバル、魚津市民文化祭、かづみ野音楽祭など

エ 次世代を担う子どもたち、青少年の文化活動の充実

(ア) 子ども芸術文化活動支援事業

県内の子どもが参画する芸術文化催事に対して、一定額の助成を行い、その活動を支援する。(年間5団体程度)

(イ) 学校コンサート(出前公演)

一流のアーティストを招へいし、県内各地域の小学校において無料のコンサートを開催する。(年間25公演)

(ウ) 各ホールにおける舞台公演など

〔教育文化会館〕 とやま青少年伝統芸能祭

〔新川文化ホール〕 小・中学校舞台芸術鑑賞会

③近代美術館、水墨美術館、立山博物館及び高志の国文学館

県において企画・実施される企画展示に際し、県と一体となって円滑な運営に当たるとともに、立山博物館におけるまんだら遊苑の夜間開苑、近代美術館・水墨美術館及び高志の国文学館におけるミュージアム・コンサート等を独自に展開し、各施設の一層の利用促進に努める。

〔近代美術館の企画展示〕 金山康喜のパリ展、戦後70周年無言館コレクション展、第11回世界ポスタートリエナーレトヤマ展、セゾン現代美術館展、BANG-BANG みよう×つくろう展など

〔水墨美術館の企画展示〕 横山大観 富山を愛した巨匠展、COLLECTION コレクション展、超絶技巧 明治工芸の粋展、東日本鉄道文化財団所蔵品展、旅に生きた水墨画の巨匠たち展、あつまれ墨画アーティスト展、陶芸石黒宗麿と人間国宝の作家たち展

〔立山博物館の企画展等〕 立山の至宝展、女性たちの立山展(仮称)、慈興上人像と祖師展(仮称)、山岳映像上映会など

〔高志の国文学館の企画展等〕 三禅定の旅—立山・白山・富士山—展、久世光彦の人間主義展、富山の温泉と文学展(仮称)、富山の活躍中の作家たち展(仮称)

④県民会館分館内山邸及び分館金岡邸

国登録有形文化財である「内山邸」及び「金岡邸」の歴史的な建築と趣のある庭園を活かし、それぞれ茶道や華道等の会場としての利用を促進する。

また、内山邸にあっては夜桜観賞会などの四季折々のイベントや県で新たに復元される「柳原文庫」を活用した展示、金岡邸にあっては落語公演や富山売薬版画展の開催など特色あるイベントの展開を通じて、県内はもとより来県する県外客に両施設の魅力を積極的に発信し、新たな観覧者の掘り起こしとリピーターの増加に努める。

⑤県が推進する芸術文化振興施策の推進

県民芸術文化祭など、県が推進する芸術文化催事に参画し、事業運営を支援する。また、文化ホール運営に関わる人材の育成や“ふるさと富山推進事業”の展開に努める。

2 青少年の健全な育成を図るための青少年研修施設の運営

【県から指定管理者の指定を受けている施設：呉羽青少年自然の家】

①施設の適正な管理運営

利用者の安全確保を最優先に、常に細心の注意を払って施設設備の維持管理に当たるとともに、快適で便利な施設環境を確保するため、施設設備の効果的な補修整備を推進する。

②利用の促進、利用者サービスの向上

利用者アンケートの実施等により、利用者のニーズや満足度を随時把握し、サービスの向上に反映する。

また、一層の安全対策の徹底や施設の快適性の向上、プログラム内容や給食内容の充実に努めるとともに、主催事業の拡充や各種団体（中・高体育連盟等）への積極的な利用提案により新たな利用者の掘り起こしを強化し、施設の一層の利用促進に努める。

3 郷土の文化的・歴史的遺産に関する学術の振興を図るための埋蔵文化財の調査研究

①能越自動車道建設関連事業

遺物整理業務を実施する。

②国道 359 号砺波東バイパス建設関連事業

三合新、三合新芹谷遺跡（砺波市）の発掘調査及び遺物整理業務を実施する。

③主要地方道小杉婦中線建設関連事業

遺物整理業務を実施する。

④県営ほ場整備関連事業〔新〕

平榎亀田遺跡（富山市）の発掘調査を実施する。

⑤国道 415 号谷屋大野バイパス建設関連事業〔新〕

中村大橋遺跡（氷見市）の発掘調査を実施する。

⑥富山産業展示館増築工事関連事業〔新〕

必要に応じて（県実施の試掘結果による）、友杉遺跡（富山市）の発掘調査を実施する。

4 県民の心身の健全な発展を図るための富山県民生涯学習カレッジの運営

カレッジ本部に加え、広域学習圏の拠点である新川地区センター、富山地区センター、高岡地区センター及び砺波地区センターにおいて、夏季講座、ふるさと発見講座、ふるさと文

化探究講座、高志の国文学専門講座、自遊塾、映像制作講座、教養講座、学遊祭（キャンパスフェスティバル）などを実施し、年間を通して多様な生涯学習事業を展開する。

また、映像センター職員の撮影・編集による郷土学習教材の制作に取り組むとともに、ハイビジョン学習室を活用し、県ゆかりの文学関係作品や貴重な映像作品の上映会を開催するなど、映像による生涯学習の振興を目指す。

〔収益事業〕

1 文化施設及び青少年教育施設の貸与（公益目的の施設貸与以外のもの）

県民会館（分館内山邸・金岡邸を含む。）、教育文化会館、県民小劇場、高岡文化ホール、新川文化ホール、呉羽青少年自然の家等の指定管理者として、施設の広範な利用促進に努める。

2 施設利用に係る物品販売、付帯サービスの提供

文化ホールや美術館・博物館等において、県民サービス・利用者サービスの一環として、受付窓口におけるワンストップサービス（宅配や花の手配、看板製作等）、催事チケットの販売、書籍やグッズの販売、清涼飲料の販売、公衆電話の取扱い等を行う。

〔財団の運営に関する事項〕

1 業務運営の改善

施設管理や事務事業の一層の合理化に努め、簡素で効率的な業務執行を推進する。

特に、平成 27 年度は、文化ホールの利用受付管理システムや公益財団法人新財務会計システムの本格稼働により、利用者サービスの向上や事務処理の合理化の一層の推進を図る。

2 経営基盤の強化

効率的な組織体制、財団版エコプランの推進、再委託業務の精査等により管理運営経費の節減を推し進め、財団の経営基盤の一層の強化に努める。